

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JCS30 U.S. PTO
09/479564
01/07/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年 1月12日

出 願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第005534号

出 願 人
Applicant(s):

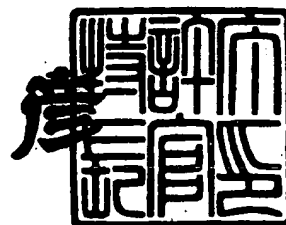
日本電気株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1999年11月26日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



出証番号 出証特平11-3082024

【書類名】 特許願

【整理番号】 62698017

【提出日】 平成11年 1月12日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04M 1/274
H04M 1/56

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

【氏名】 宮田 章子

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100070219

【弁理士】

【氏名又は名称】 若林 忠

【電話番号】 03-3585-1882

【選任した代理人】

【識別番号】 100100893

【弁理士】

【氏名又は名称】 渡辺 勝

【選任した代理人】

【識別番号】 100088328

【弁理士】

【氏名又は名称】 金田 暢之

【選任した代理人】

【識別番号】 100106138

【弁理士】

【氏名又は名称】 石橋 政幸

【選任した代理人】

【識別番号】 100106297

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 克博

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 015129

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9710078

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 宛先発信制御システムおよび宛先発信制御方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 データベース手段と、
画像データが格納される画像格納手段と、
前記画像格納手段に格納された画像データを表示する表示手段と、
前記表示手段に表示された画像の所望の領域を指定するための領域指定手段と、
宛先情報を入力するための入力手段と、
前記領域指定手段にて宛先画像領域として指定された領域の座標データを求め、
該座標データと前記入力手段から入力された宛先情報とを対応づけて前記データベース手段へ登録するデータ登録手段と、
前記領域指定手段にて宛先として指定された領域の座標を求め、該座標に基づいて前記データベース手段を検索して宛先情報を得る宛先情報検索手段と、
前記宛先情報検索手段にて得られた宛先情報に基づいて発信を行う発信手段とを有することを特徴とする宛先発信制御システム。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の宛先発信制御システムにおいて、
前記表示手段がタッチスクリーンより構成され、
前記領域指定手段が、前記タッチスクリーンを介して領域を指定するよう構成されたことを特徴とする宛先発信制御システム。

【請求項 3】 請求項 1 に記載の宛先発信制御システムにおいて、
宛先画像を取り込む画像取込手段と、
タイトル画像を作成するタイトル画像作成手段と、
前記タイトル画像作成手段にて作成されたタイトル画像と前記画像取込手段にて取り込まれた複数の宛先画像とを貼り付け、該貼付画像を前記画像格納手段へ格納する画像貼付手段とをさらに有することを特徴とする宛先発信制御システム。

【請求項 4】 請求項 3 に記載の宛先発信制御システムにおいて、
前記表示手段が、前記画像格納手段に格納された貼付画像のタイトル画像を基

準に表示し、該貼付画像の全体にわたってスクロール可能に構成されたことを特徴とする宛先発信制御システム。

【請求項 5】 請求項 3 に記載の宛先発信制御システムにおいて、
前記画像格納手段に格納された貼付画像を構成する各宛先画像およびタイトル画像がそれぞれ割り当てられたテンキーを備え、
前記表示手段が、前記テンキー入力に応じて入力されたテンキーに割り当てられた宛先画像またはタイトル画像を表示することを特徴とする宛先発信制御システム。

【請求項 6】 請求項 3 に記載の宛先発信制御システムにおいて、
前記画像取込手段にて取り込まれる宛先画像が写真撮影画像であることを特徴とする宛先発信制御システム。

【請求項 7】 請求項 3 に記載の宛先発信制御システムにおいて、
前記貼付画像を構成する宛先画像の少なくとも 1 が、前記タイトル画像作成手段によって作成される手書き入力画像であることを特徴とする宛先発信制御システム。

【請求項 8】 請求項 1 に記載の宛先発信制御システムにおいて、
前記データ登録手段が、前記領域指定手段にて指定された宛先画像領域中の宛先対象の輪郭を抽出し、該輪郭により囲まれた領域の座標データを求め、該座標データと前記入力手段から入力された宛先情報とを対応づけて前記データベース手段へ登録することを特徴とする宛先発信制御システム。

【請求項 9】 所望の画像データを取り込んで格納する第 1 のステップと、
前記第 1 のステップで格納された画像データに基づいて表示される画像の所望の領域を宛先画像領域として指定するとともに該宛先画像領域に関する宛先情報を入力する第 2 のステップと、

前記第 2 のステップで指定された宛先画像領域の座標データを求め、該座標データと前記第 2 のステップで入力された該宛先画像領域に関する宛先情報とを対応づけてデータベースへ登録する第 3 のステップと、

前記第 1 のステップで格納された画像データに基づいて表示される画像の所望の領域を宛先として指定する第 4 のステップと、

前記第 4 のステップで指定された領域の座標を求め、該座標に基づいて前記データベースを検索して宛先情報を得、該宛先情報に基づいて発信を行う第 5 のステップとを含むことを特徴とする宛先発信制御方法。

【請求項 1 0】 請求項 9 に記載の宛先発信制御方法において、

前記第 1 のステップで格納される画像データとして、複数の宛先画像とタイトル画像とを貼り付けた貼付画像を格納し、該格納された貼付画像のタイトル画像を基準に表示し、該表示画面をその貼付画像の全体にわたって連続的にスクロールして所望の宛先画像を選択することを特徴とする宛先発信制御方法。

【請求項 1 1】 請求項 9 に記載の宛先発信制御方法において、

前記第 1 のステップで格納される画像データとして複数の宛先画像とタイトル画像とを貼り付けた貼付画像を格納し、該格納された貼付画像を構成する各宛先画像およびタイトル画像をそれぞれ異なるテンキーに割り当て、これらテンキー入力に応じて宛先画像またはタイトル画像を表示することを特徴とする宛先発信制御方法。

【請求項 1 2】 請求項 1 0 又は請求項 1 1 に記載の宛先発信制御方法において、

前記貼付画像を構成する各宛先画像として写真撮影画像または手書き入力画像を使用することを特徴とする宛先発信制御方法。

【請求項 1 3】 請求項 9 に記載の宛先発信制御方法において、

前記第 3 のステップで求められる宛先画像領域の座標データを、該宛先画像領域中の宛先対象の輪郭を抽出し、該輪郭により囲まれた領域から求めることを特徴とする宛先発信制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、データベースを用いて宛先への発信制御を行うシステムおよび方法に関し、特に携帯情報端末や携帯電話などの通信機能を有する端末装置に適用される宛先発信制御システムおよび宛先発信制御方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般に、携帯電話にはメモリ機能部が設けられており、所望の宛先電話番号をそのメモリ機能部に登録することができる。このメモリ機能部に登録されている宛先電話番号は携帯電話の表示パネルに表示することができ、電話をかける際には、そのメモリ機能部に登録されている宛先電話番号を表示パネルに表示して、該当する電話番号を指定することで、目的とする相手に対して発信することができる。

【0003】

しかしながら、携帯電話は表示画面が小さく、表示文字サイズも小さいため、上記のようなメモリ機能を利用した発信を行う場合に、表示された文字情報（宛先の電話番号や氏名など）の選択・指定がしにくいという問題があった。

【0004】

そこで、文字情報の選択・指定に代えて、画像情報を使用して宛先を選択・指定するようにした技術が提案されている。一例として、特開平2-159188号公報には、宛先画像と宛先電話番号とを対応づけて記憶し、記憶されている宛先画像を表示パネルに順に表示して、該当する宛先画像を選択・指定することで、該選択・指定された宛先画像と対応する宛先電話番号に発信するようにした技術が開示されている。この技術によれば、画像情報に基づいて宛先を判別することができるので、宛先の選択・指定が容易となる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述の特開平2-159188号公報に開示された技術においては、宛先画像と宛先電話番号は1対1で対応し、しかも記憶されている宛先画像をメモリ部から順に読み出して表示するようになっているため、宛先の選択・指定に時間がかかるという問題がある。

【0006】

また、操作性の向上を図ることを目的に、例えば複数の宛先対象を写真撮影した画像データを表示して、該表示画像中の所望の宛先対象を選択指定することで発信できるようにすることが、利用者からの要望の1つとして挙げられているが

、上記の公報のものは、宛先画像と宛先電話番号は 1 対 1 で対応するように構成されているため、そのような要望を実現することはできない。

【0 0 0 7】

本発明の目的は、上記課題を解決し、宛先の選択・指定を容易かつ短時間に行うことができる、操作性に優れた、宛先発信制御システムおよび宛先発信制御方法を提供することにある。

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の宛先発信制御システムは、データベース手段と、画像データが格納される画像格納手段と、前記画像格納手段に格納された画像データを表示する表示手段と、前記表示手段に表示された画像の所望の領域を指定するための領域指定手段と、宛先情報を入力するための入力手段と、前記領域指定手段にて宛先画像領域として指定された領域の座標データを求め、該座標データと前記入力手段から入力された宛先情報とを対応づけて前記データベース手段へ登録するデータ登録手段と、前記領域指定手段にて宛先として指定された領域の座標を求め、該座標に基づいて前記データベース手段を検索して宛先情報を得る宛先情報検索手段と、前記宛先情報検索手段にて得られた宛先情報に基づいて発信を行う発信手段とを有することを特徴とする。

【0 0 0 9】

上記の場合、前記表示手段がタッチスクリーンより構成され、前記領域指定手段が、前記タッチスクリーンを介して領域を指定するように構成されてもよい。

【0 0 1 0】

また、前記データ登録手段が、前記領域指定手段にて指定された宛先画像領域中の宛先対象の輪郭を抽出し、該輪郭により囲まれた領域の座標データを求め、該座標データと前記入力手段から入力された宛先情報とを対応づけて前記データベース手段へ登録する構成としてもよい。

【0 0 1 1】

さらに、宛先画像を取り込む画像取込手段と、タイトル画像を作成するタイトル画像作成手段と、前記タイトル画像作成手段にて作成されたタイトル画像と前

記画像取込手段にて取り込まれた複数の宛先画像とを貼り付け、該貼付画像を前記画像格納手段へ格納する画像貼付手段とをさらに有する構成としてもよい。

【0012】

上記の場合、前記表示手段が、前記画像格納手段に格納された貼付画像のタイトル画像を基準に表示し、該貼付画像の全体にわたってスクロール可能に構成されてもよい。

【0013】

また、前記画像格納手段に格納された貼付画像を構成する各宛先画像およびタイトル画像がそれぞれ割り当てられたテンキーを備え、前記表示手段が、前記テンキー入力に応じて入力されたテンキーに割り当てられた宛先画像またはタイトル画像を表示する構成としてもよい。

【0014】

さらに、前記画像取込手段にて取り込まれる宛先画像が写真撮影画像であってもよい。

【0015】

さらに、前記貼付画像を構成する宛先画像の少なくとも1が、前記タイトル画像作成手段によって作成される手書き入力画像（例えば、文字や絵を手書き入力した画像）であってもよい。

【0016】

本発明の宛先発信制御方法は、所望の画像データを取り込んで格納する第1のステップと、前記第1のステップで格納された画像データに基づいて表示される画像の所望の領域を宛先画像領域として指定するとともに該宛先画像領域に関する宛先情報を入力する第2のステップと、前記第2のステップで指定された宛先画像領域の座標データを求め、該座標データと前記第2のステップで入力された該宛先画像領域に関する宛先情報とを対応づけてデータベースへ登録する第3のステップと、前記第1のステップで格納された画像データに基づいて表示される画像の所望の領域を宛先として指定する第4のステップと、前記第4のステップで指定された領域の座標を求め、該座標に基づいて前記データベースを検索して宛先情報を得、該宛先情報に基づいて発信を行う第5のステップとを含むことを

特徴とする。

【0017】

上記の場合、前記第1のステップで格納される画像データとして、複数の宛先画像とタイトル画像とを貼り付けた貼付画像を格納し、該格納された貼付画像のタイトル画像を基準に表示し、該表示画面をその貼付画像の全体にわたって連続的にスクロールして所望の宛先画像を選択するようにしてもよい。

【0018】

また、前記第1のステップで格納される画像データとして複数の宛先画像とタイトル画像とを貼り付けた貼付画像を格納し、該格納された貼付画像を構成する各宛先画像およびタイトル画像をそれぞれ異なるテンキーに割り当て、これらテンキー入力に応じて宛先画像またはタイトル画像を表示するようにしてもよい。

【0019】

さらに、前記貼付画像を構成する各宛先画像として写真撮影画像または手書き入力画像（例えば、文字や絵を手書き入力した画像）を使用するようにしてもよい。

【0020】

さらに、前記第3のステップで求められる宛先画像領域の座標データを、該宛先画像領域中の宛先対象の輪郭を抽出し、該輪郭により囲まれた領域から求めるようにしてもよい。

【0021】

（作用）

上記のとおりの本発明においては、表示画像の所望の領域を宛先画像領域として設定することができるので、表示画像中に複数の宛先画像領域を設定することができる。データベースには、これら宛先画像領域の座標データと宛先情報とが対応づけられて登録され、発信を行う際は、表示画像中で指定された領域の座標に基づいてデータベースが検索されて宛先情報が得られる。このように、本発明では、表示画像中の所望の宛先対象を宛先情報と対応づけて任意にデータベースに登録することができ、該データベースに基づいて、表示画像中の所望の宛先対象へ発信することができるので、前述の課題で述べたような、表示画像中の所望

の宛先対象を選択指定することで発信するといった要望の実現が可能である。

【0022】

本発明のうち複数の宛先画像とタイトル画像とを貼り付けた貼付画像を格納するようにしたものでは、各貼付画像はタイトル画像によって分類された構成となるため、タイトル画像を検索することで目的とする宛先画像を表示することができる。また、複数の宛先であっても、画面にはそれら宛先に関する画像が配置され、視覚的な登録、選択を行うことができる。したがって、本発明では、従来のように目的とする宛先画像を検索するのに時間がかかるといった問題は生じない。

【0023】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施形態について図面を参照して説明する。

【0024】

図1は、本発明の一実施形態の宛先発信制御システムの概略構成を示すブロック図である。この宛先発信制御システムは、演算制御部1、表示部2、入力部3、画像データ格納部4、データベース5、通信機能部6、画像データ取込部7からなる。

【0025】

画像データ取込部7は、デジタルカメラなどの写真撮影装置と接続され、写真撮影装置にて写真撮影された画像を取り込めるようになっている。本形態では、写真撮影装置から、複数の宛先対象が含まれた所定サイズの画像データが取り込まれる。この取り込まれた画像データは演算制御部1へ送られる。

【0026】

画像データ格納部4は、演算制御部1にて貼り付け・編集などの処理が施された貼付画像を格納する。本形態では、3×3のマトリックス状に画像データを貼り付けた貼付画像が格納される。

【0027】

表示部2はタッチスクリーンであって、画像データ格納部4に格納されている貼付画像を表示する他、使用者がスクリーン上の所望の領域を指などでタッチす

ることにより所望の情報の入力（例えば手書き画像の作成や情報登録）、表示情報の選択入力を行うことができる。入力部 3 は、少なくとも 1 ～ 9 のテンキー（例えば、電話番号キー）を備える。使用者は、これらのテンキーを用いて、表示情報の選択入力や情報登録などを行うことができる。ここでは、この表示部 2 のタッチスクリーンのサイズと上記画像データ格納部 4 に格納される貼付画像の各画像データのサイズは同じ大きさになっている。

【 0 0 2 8 】

データベース 5 は、画像データ格納部 4 に格納された貼付画像を構成する各分割画像に設定される各宛先画像領域の宛先電話番号とこれら宛先画像領域の上記タッチスクリーン上での座標データとを対応づけて記憶する。

【 0 0 2 9 】

通信機能部 6 は、外部の端末装置との通信を行う部分で、演算制御部 1 で検索される電話番号に発信する他、外部の端末装置からのデータ受信（例えば、電子メール受信、FAX 受信など）が可能である。

【 0 0 3 0 】

演算制御部 1 は、画像データ取込部 7 を介して入力される画像データやタッチスクリーンを使用して作成された手書き画像を貼り付けて画像データ格納部 4 へ格納させる他、データベース 5 への情報登録、宛先電話番号の検索などの処理を行う。この演算制御部 1 の主要構成は、画像貼付部 1 1、データ登録部 1 2、宛先情報検索部 1 3 からなる。

【 0 0 3 1 】

画像貼付部 1 1 は、画像データ取込部 7 を介して入力される撮影画像やタッチスクリーンを使用して作成された手書き画像を、タッチスクリーンを使用した入力指示、または入力部 3 のテンキーを使用した入力指示に従って貼り付ける。この画像貼付部 1 4 における貼り付け手順の一例を図 2（a）～（e）に示し、以下にその手順を説明する。

【 0 0 3 2 】

この画像データの貼り付けでは、分割画像 P 1 ～ P 9 の 9 枚の画像の貼り付けが次のように行われる。まず、タッチスクリーン上で、貼り付けの際の基準とな

る分割画像P5を手書きによって作成する(図2(a)参照)。この分割画像P5はタイトル画像であり、演算制御部1のタイトル画像作成手段(不図示)が予め用意されているプログラムを実行することにより作成される。

【0033】

続いて、分割画像P2となる画像データを画像データ取込部7を介して取り込み、これを分割画像P5の上側に貼り付ける(図2(b)参照)。続いて、分割画像P4となる画像データを画像データ取込部7を介して取り込み、これを分割画像P1の左側に貼り付ける(図2(d)参照)。このような手順で、分割画像P1~P9の画像データを3×3のマトリックス状に貼り付けて図2(e)の貼付画像を得る。この貼付画像は、例えば「テニスサークル(ページ1)」といったタイトルを付けて画像データ格納部4に格納する。ここで、分割画像P1~P4, P6~P9にはデジタルカメラなどで撮像された撮像画像や撮影写真をスキヤナーで読み取った画像などを用いることができる。

【0034】

データ登録部12は、タッチスクリーンに表示された貼付画像に対して使用者がタッチスクリーンまたはマウスなどを用いて指定する宛先画像領域のタッチスクリーン上での座標データを求め、その宛先画像領域に対して使用者がタッチスクリーンまたはテンキーを用いて入力する宛先情報(宛先電話番号、宛先FAX番号、宛先メールアドレス、名前など)と上記座標データとを対応づけてデータベース5へ登録する。例えば、図3に示すようなテーブル情報として、座標データと宛先情報がデータベース5に登録される。

【0035】

宛先情報検索部13は、タッチスクリーンに表示された貼付画像に対して使用者がタッチスクリーンまたはマウスなどを用いて指定する領域の座標を求めるとともに、該座標に基づいてデータベース5を検索して宛先電話番号などの宛先情報を求める。この宛先情報検索部13で検索された宛先情報は通信機能部6へ送出される。

【0036】

次に、本形態の宛先発信制御システムにおいて行われるデータ登録および宛先

情報検索の手順を、演算制御部 1 における具体的な動作をからめて詳細に説明する。

【0 0 3 7】

(1) データ登録

演算制御部 1 が、予め用意されたプログラムに従ってデータ登録、宛先情報検索などの選択項目をタッチスクリーンに表示させる。使用者がタッチスクリーンに表示した項目のうちからデータ登録を選択入力すると、演算制御部 1 は画像データ格納部 4 に格納されている貼付画像をタッチスクリーンに表示させる。このタッチスクリーンへ表示される貼付画像は、使用者がタッチスクリーンまたはポインティングデバイス（マウスやペンなど）を用いて所望のタイトルを入力することにより、画像データ格納部 4 に格納されている貼付画像から任意に選択することができる。例えば、テニスサークルなどのタイトルを入力することで、前述の図 2（e）に示した貼付画像を表示することができる。また、貼付画像は、該貼付画像を構成する分割画像のうちの所定の分割画像（タイトル画面）、例えば図 2（e）に示した貼付画像の分割画像 P 5 をデフォルト設定すれば、貼付画像をタッチスクリーンに表示する際に常にタイトル画面を最初に表示することができる。

【0 0 3 8】

タッチスクリーンに所望の貼付画像が表示されると、表示画像をスクロールして目的とする画像を表示させる。例えば、前述の図 2（e）に示した貼付画像において分割画像 P 3 を表示させる場合には、図 4 に示すように表示画面を右上方向へスクロールすることになる。この分割画像の選択には、スクロールを行う以外に、各分割画像 P 1～P 9 をそれぞれ 1～9 のテンキーに割り当て、所望の分割画像に対応するテンキーを選択入力する方法もある。

【0 0 3 9】

目的とする分割画像が表示されると、使用者はタッチスクリーンまたはポインティングデバイスを用いて、表示した分割画像の所望の領域（宛先画像領域）を指定する。例えば、図 5（a）に示すように領域 A を自由曲線で囲み、さらに図 5（b）に示すように別の領域 B を自由曲線で囲む。データ登録部 1 2 は、自由

曲線で囲まれた領域A、Bのそれぞれの座標データを算出する。このとき、データ登録部12は、各領域A、Bの顔の輪郭を抽出して、それぞれの輪郭によって囲まれる領域の座標データを求めるようにしてもよい。この場合は、領域Aと領域Bが近接する場合に、各領域の座標データが重なることを防ぐことができる。

【0040】

使用者は、宛先画像領域として領域A、Bを指定すると、続けてタッチスクリーンまたはポインティングデバイスを用いてこれら領域A、Bに関する宛先情報（宛先電話番号、宛先FAX番号、宛先メールアドレス、名前など）を入力する。データ登録部12は、入力された各領域A、Bの宛先情報と上記各領域A、Bの座標データとを対応づけてデータベースへ登録する。

【0041】

(2) 宛先情報検索

宛先情報検索としては、宛先電話番号検索、宛先FAX番号検索、宛先電子メールアドレスなどがあり、これらの項目は、使用者がタッチスクリーンに表示された選択項目のうちから任意に選択指定することができる。ここでは、宛先情報検索として宛先電話番号検索を選択指定した場合について説明する。

【0042】

使用者がタッチスクリーンに表示した選択項目のうちから宛先電話番号検索を選択指定すると、演算制御部1は画像データ格納部4に格納されている貼付画像をタッチスクリーンに表示させる。使用者は、表示画像をスクロールして目的とする分割画像をタッチスクリーンに表示させ、表示された分割画像上で所望の宛先を選択指定する。

【0043】

宛先が指定されると、宛先情報検索部13は、その指定された領域の座標を求めるとともに、データベース5を検索して、その求めた座標と対応する宛先電話番号を求める。この宛先番号検索部13で検索された宛先電話番号は通信機能部6へ送出される。通信機能部6は、宛先番号検索部13から宛先電話番号を受け取ると、該宛先電話番号に対して発信動作を行う。

【0044】

なお、宛先情報検索部 13 は、指定された領域の座標に該当するデータがデータベース 5 に存在しない場合には、その旨を示すメッセージをタッチスクリーン上に表示して、該指定され領域に対する登録処理を行うよう促す。

【0045】

以上、宛先電話番号検索について説明したが、宛先 F A X 番号検索、宛先電子メールアドレスを選択指定した場合も、同様の検索動作が行われて、検索された宛先 F A X 番号検索、宛先電子メールアドレスへ発信が行われる。

【0046】

なお、本形態では、はじめに宛先電話番号検索、宛先 F A X 番号検索などのモードを選択してからデータベースが検索されるようになっているが、これらのプロセスは設計に応じて変更することができる。例えば、はじめに宛先画像を指定してその宛先画像に関する宛先情報（宛先電話番号、宛先 F A X 番号など）を検索するようにし、該宛先情報から所望の項目（例えば、宛先電話番号）を指定するようなプロセスにしてもよい。このプロセスの場合は、指定された項目の宛先情報が通信機能部 6 へ送出されることになる。

【0047】

また、本形態では、画像データ格納部 4 には 3 × 3 の貼付画像が格納されるようになっているが、この貼付画像のサイズ、分割画像数は特に限定されるものではなく、設計に応じて種々設定することができる。

【0048】

また、上述の画像データ取込部 7 を介した画像データの取り込みは、写真撮影装置（デジタルカメラなど）から赤外線通信またはケーブル通信でデータを転送して取り込むようにしてもよい。この他、画像データをモデムを介して取り込んだり（電子メールなど）、スキャナーを使用して取り込んだり、I C カードやメモリカードなどの記録媒体から読み込むようにすることもできる。

【0049】

さらに、取り込んだ画像データと併用して、タッチスクリーンを用いて入力される絵や文字の手書き入力画像を使用することもできる。

【0050】

さらに、画像データ格納部 4 に格納する貼付画像として、図 6 に示すような 3×3 の 9 枚の分割画像（地図情報）からなる貼付画像を作成することもできる。この場合は、表示された地図情報から所望の宛先（ホテルやレジャー施設等）を選択指定することで、その選択指定した宛先へ発信できることになる。この場合の、データベースの登録も上述した手順で行うことができる。

【0051】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、1 枚の表示画像中で複数の宛先対象をデータベースへ登録することができ、発信の際は、表示された複数の宛先対象のうちから任意に選択指定した宛先対象へ発信することができるので、その操作性は、1 枚の表示画像から 1 つの宛先対象へしか発信できなかった従来のものより格段に向上する。

【0052】

また、本発明によれば、各貼付画像にはタイトル画像が付けられ、該タイトル画像に基づいて目的とする宛先画像を容易に検索することができるので、宛先の選択・指定にかかる時間は、単に宛先画像をメモリ部から順に読み出して表示していた従来のものより大幅に短くなる。

【0053】

さらに、本発明によれば、画面に配置されている宛先情報は画像であり、宛先対象の登録、選択指定は視覚的に行われるので、表示画面が小さく宛先が多くなっても容易に目的とする宛先を登録、選択指定することができる。したがって、その操作性は、文字情報（宛先の電話番号や氏名など）を画面に表示して目的とする宛先を選択指定していた従来のものより格段に向上する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施形態の宛先発信制御システムの概略構成を示すブロック図である。

【図 2】

(a) ～ (e) は貼り付け手順の一例を示す図である。

【図 3】

座標データと宛先情報とがデータベース化されたテーブル情報の一例を示す図である。

【図 4】

表示画面の右上方向へのスクロールを示す図である。

【図 5】

(a) および (b) は自由曲線による領域指定の一例を示す図である。

【図 6】

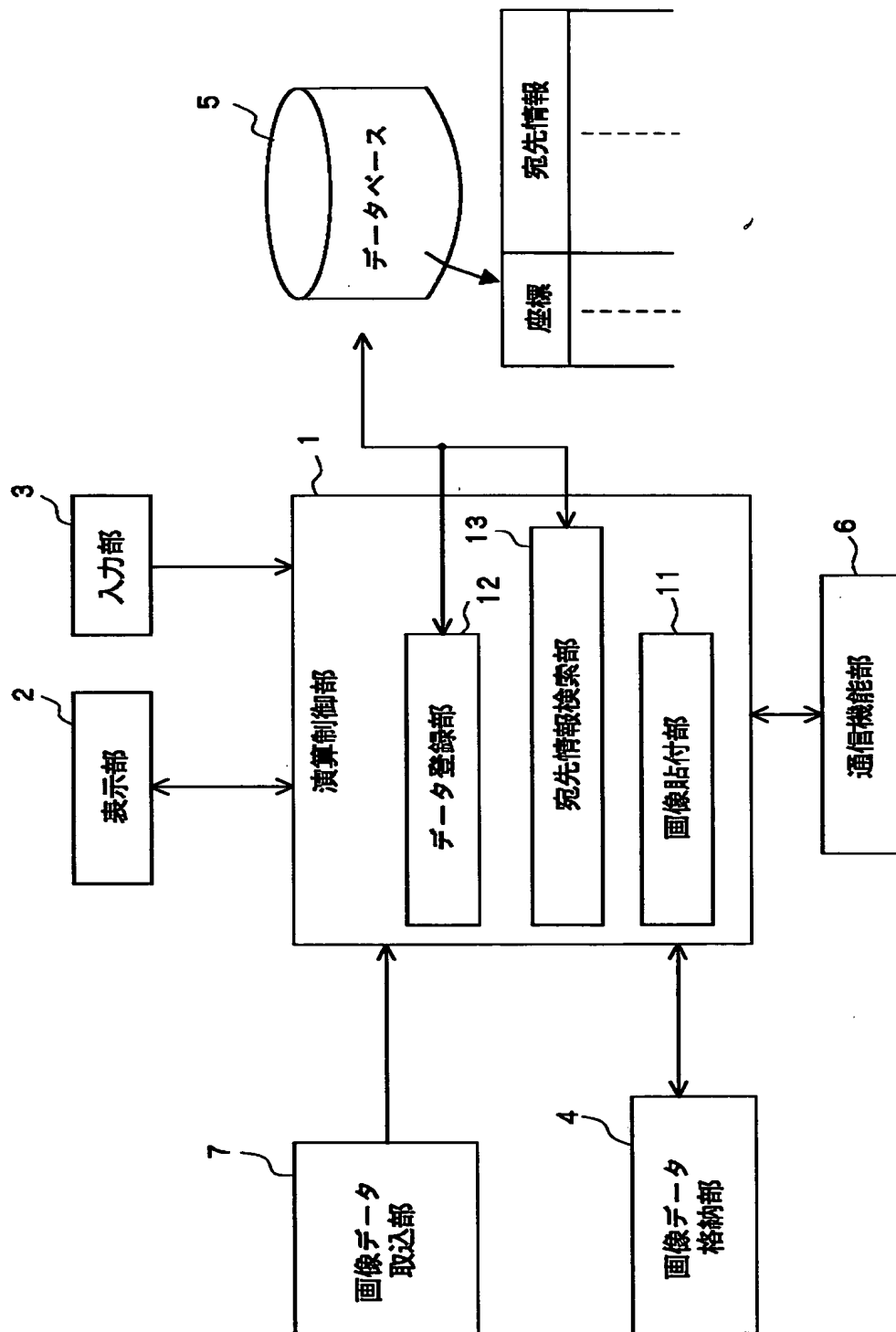
地図画像情報の貼付画像の一例を示す図である。

【符号の説明】

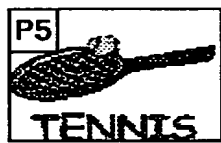
- 1 演算制御部
- 2 表示部
- 3 入力部
- 4 画像データ格納部
- 5 データベース
- 6 通信機能部
- 7 画像データ取込部
- 1 1 画像貼付部
- 1 2 データ登録部
- 1 3 宛先情報検索部

【書類名】 図面

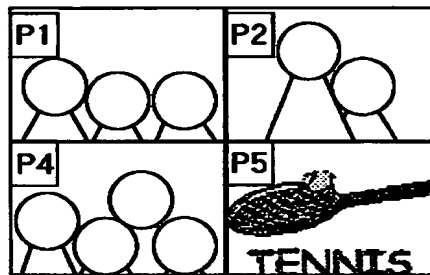
【図 1】



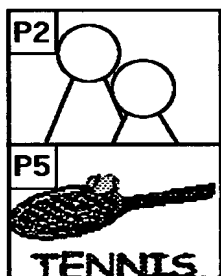
【図 2】



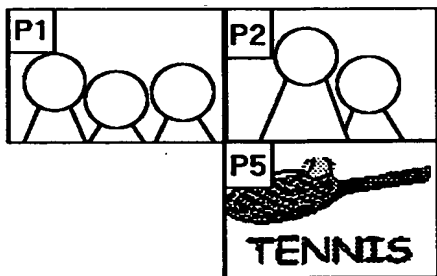
(a)



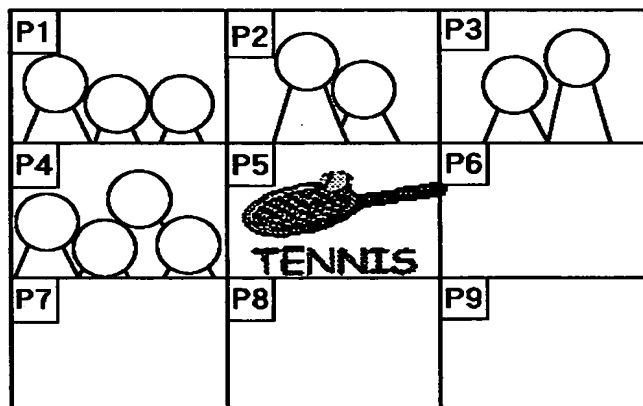
(d)



(b)



(c)

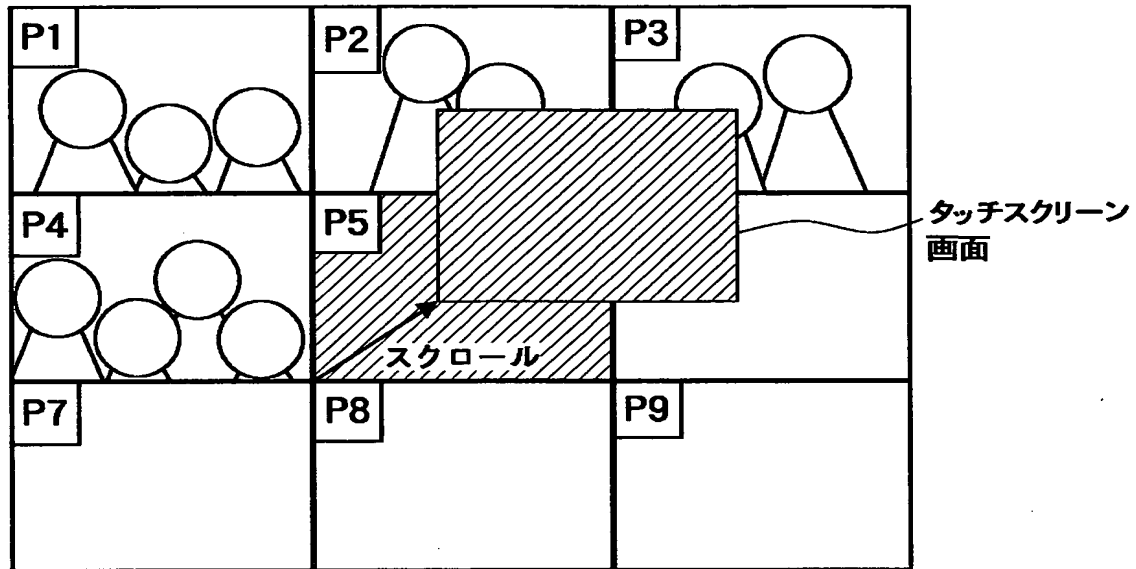


(e)

【図 3】

領域	宛先電話番号	宛先FAX番号	宛先電子メールアドレス	名前
1-3,23,24,22,34,56	03-XXXX-1111	03-XXXX-1112		あきこ
1-3,56,57,56,58,59	048-XXXX-1111			

【図 4】



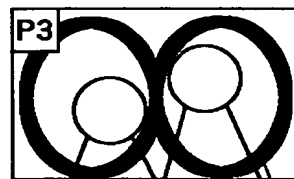
(e)

【図 5】



A

(a)

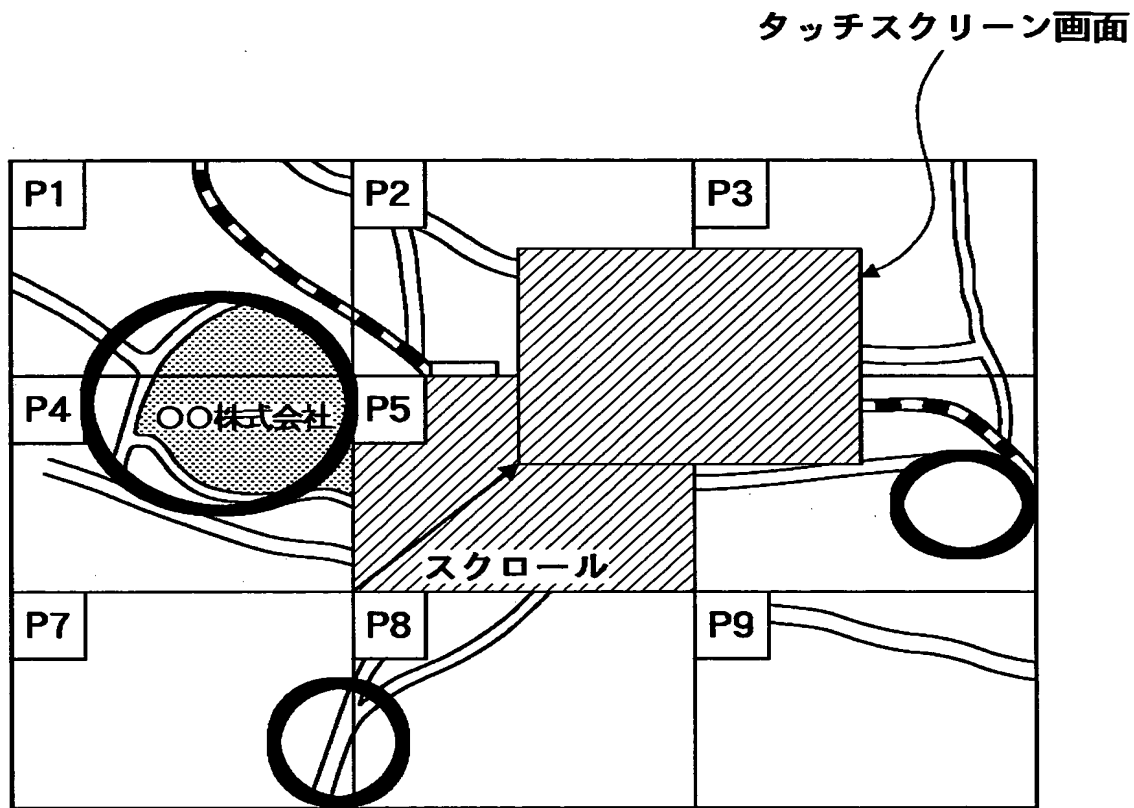


A

B

(b)

【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 宛先の選択・指定を容易かつ短時間に行うことができる、操作性に優れた宛先発信制御システムを提供する。

【解決手段】 データベース 5 と、画像データ格納部 4 と、該画像データ格納部 4 に格納された画像データを表示する表示部 2 と、該表示部 2 に表示された画像の所望の領域を指定するための領域指定手段と、宛先情報を入力するための入力部 3 と、上記領域指定手段にて宛先画像領域として指定された宛先画像領域の座標データを求め、該座標データと入力部 2 から入力された宛先情報とを対応づけてデータベース 5 へ登録するデータ登録部 1 2 と、上記領域指定手段にて宛先として指定された領域の座標を求め、該座標に基づいてデータベース 5 を検索して宛先情報を得る宛先情報検索部 1 3 とを有する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社